

足立区議会議長 工 藤 てつや 様

足立区議会議員 31番 銀川 ゆい子 印

## 一般質問通告書

今定例会に下記要旨の一般質問を行いたいので、会議規則第59条第2項の規定により質問通告書を提出します。

## 記

行政区分	質問の要旨
1. 一般行政	<p><b>1. 区長の政治姿勢について</b></p> <p><b>(1) 時代の流れについて</b></p> <p>令和になってから5年が過ぎようとしている。この間、世の中の動きが急激に進み、社会や人々の価値観は大きく変わり、当たり前だったものが当たり前ではなくなる時代となった。それは区政の場においても同じである。区政運営を行うにあたり「時代の流れ」を的確に捉え、対応することが求められている。そこで伺う。</p> <p>①区長が「時代の流れ」に区民のため、敏速に実施対応すべきと考える主なものは何か。</p> <p>②一方「時代の流れ」であっても、踏みとどめたり、やるべきことをやり続けることも必要な時がある。時代の流れに抗ってでも区民のために区長が取り組む必要があると考える主なものは何か。</p> <p><b>(2) 中学生・高校生のチャンスの場について</b></p> <p>11月26日、足立区在住の高校生が企画した「モギ区長選」というイベントが行われた。区内外の40人の中学生・高校生が参加をし、チームに分かれて政策立案から選挙公報の作成、政策をアピールするプレゼンテーションを経て、模擬区長選挙を行った。杉本ゆう議員から呼びかけられた、私を含む議員6名も各チームを担当し、アドバイザーという立場で参加をした。</p> <p>1日学生たちを見ていて思ったことは、参加している学生たちの社会に対する意識やアンテナの高さ、デジタルを使いこなす力、プレゼンテーション力の高さに驚くとともに、本当に頼もしく、足立区の未来、これから社会に大きな希望が持てると思った。そこで区長に伺う。</p>
	11月27日 午前・午後11時00分受付 質問時間 20分

	31番 銀川 ゆい子
行政区分	質問の要旨
	<p>①区長は今回実施されたこのイベントの報告を受けていると思うが、どのような感想を持ったか。</p> <p>②今回の「モギ区長選」のように、中学生・高校生が自発的に考え、アピールする場、スピーチする場など、学生たちが持っている様々な能力を発揮できる今回のイベントは本当に素晴らしい。このような機会が学生たちの潜在能力を引き出し、成長する糧にもなる。区内のより多くの中高生に、このようなチャンスの場をさらに多く提供することを望むが、区長の見解を伺う。</p>
2. 政策経営行政	<p><b>2. ふるさと納税返礼品について</b></p> <p>①世田谷区ではデジタル版地域通貨「せたがや Pay」のポイントを、500 を超える自治体が PayPay ポイントをふるさと納税の返礼品として取り扱っている。これらのポイントは、対象自治体での地場産品の基準を満たした商品・サービスの支払いに利用できる。</p> <p>足立区においても、足立区商店街振興組合連合会の商品券(紙版・デジタル版)や PayPay ポイントを返礼品として取り扱いできるよう検討してほしいと思うがどうか。</p> <p>②「令和 5 年度足立区ふるさと納税返礼品提供事業者募集要項」によると、返礼品の採用要件の項目で、平成 29 年度 4 月 1 日付け総務省第 28 号総務大臣通知「ふるさと納税に係る返礼品の送付等について」を引用し、商品券や電子マネーは返礼品として取り扱えないとなっている。総務省に確認したところ、現在は可能になっているとのこと。訂正すべきものだと思うが、残している理由は何か。</p>
3. 地域のちから行政	<p><b>3. 駅前コンテナ型喫煙所の整備について</b></p> <p>①私は令和 4 年第 4 回定例会で、喫煙所が未整備となっている駅改札口ごとにコンテナ型喫煙所の整備をするよう求めたが、一年経っても五反野駅・綾瀬駅西口・梅島駅北側・千住大橋駅など整備されずにいる。近隣住民の声や設置場所の確保など、すぐには解決できない点があることも承知しているが、区は一年間喫煙所整備に向けてどのような努力をしてきたのか。</p> <p>②特に千住大橋駅は吸い殻のポイ捨てや路上喫煙が多く、これまで</p>

	31番 銀川 ゆい子
行政区分	質問の要旨
	<p>近隣住民や、先日は現職都議会議員からも区に強く要望してほしいと依頼を受けた。早急に整備するよう求めるがどうか。</p> <p><b>4. 町会自治会支援について</b></p> <p>①区内には、ライングループでのやりとりやホームページを作っている町会もあり、町会活動でも利用できる匿名性のあるアプリなどがあると聞く。個人情報などで後ろ向きに捉える人もいると思うが、町会のデジタル化推進のためのサポートや、デジタル化導入に向けた費用助成などを検討してほしいと思うがどうか。加えて、デジタル化導入に際しての設定のサポートまでできないか。</p> <p>②10月に開催されたある会合で、区長は「町会自治会の盆踊りなどの支援を検討していく必要性も考えていかなければならない」旨の発言をされたときに同席したが、例えばやぐらの設置費用助成など、本格的に実現に向けて考えているのか。</p> <p>③区は地域における子ども向けのイベントに助成するなど、町会に若い世代を取り込むための支援をしていることは承知しているが、若い世代にとって、とくに他の地域から移り住んできた人たちにとって町会は身近な存在になっているとは言えない。</p> <p>先の会合の中で、区長から「若い方の中には盆踊りはお金を払わなければ参加できないと思っている人もいる」という話もあった。盆踊りなど、地域の行事には若い世代が気兼ねなく参加できるような情報発信やPRをさらに工夫・強化して行っていくべきと思うがどうか。</p> <p>④また昨今、どの地域も町会自治会の役員の高齢化が著しい。役員に話を伺うと、「本当は若い人に変わってほしいが町会に入ってもらえない」という声を聞く。時代の流れとともに、町会のリーダーや役員の世代交代を進めていくような工夫や調査研究・周知を区として進めてほしいと思うがどうか。</p> <p><b>5. 子どもの屋内遊び場について</b></p> <p>令和5年第1回定例会にて我が会派の代表質問、そして令和5年度予算特別委員会において、私は子どもの屋内遊び場設置について要望した。猛暑日による熱中症や不審者など、外で子どもを遊ばせることのリスクや雨の日の居場所、子育て環境の変化など、時代の流れとともに子どもの屋内遊び場のニーズは高まっている。</p>

	31番 銀川 ゆい子
行政区分	質問の要旨
	<p>そんな中、北綾瀬駅前に建設されている新規商業施設の中に、令和7年6月下旬子育てサロンの設置が予定されていると区民委員会で報告があった。区内に子どもの屋内遊び場が増えることを嬉しく思う。そこで伺う。</p> <p>①北綾瀬駅に続いて、再開発を進めている六町駅前新施設、竹ノ塚駅東口にも、未就学児だけではなく小学生も遊んだり、身体を動かせる施設、そして保護者が相談できる場所の整備を検討してほしいと思うがどうか。</p> <p>②子どもの遊びの重要性を踏まえたまちづくりを進めることが必要で、時代の流れとして、特に室内遊び場を区内にバランスよく整備することを強く望むがどうか。</p> <p>③ギャラクシティの改修工事が令和7年度から8年度にかけて予定されているようだが、空調や電気などの設備機器と文化ホールを中心と聞いている。5年後、10年後も見据えた子どもたちの屋内遊び場環境の充実に向けて、遊具設備やアトラクションも含めて改修を検討すべきと思うがどうか。</p>

#### 4. 福祉行政

#### 6. 重層的支援体制整備事業について

政府は令和2年6月社会福祉法を改正、「相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する「重層的支援体制整備事業」を始め、包括的な支援体制の構築を図ることとなった。

この流れを受け、豊島区では既に令和5年3月に豊島区重層的支援体制整備事業実施計画を策定している。そこで伺う。

①私自身も社会福祉士の立場から足立区の取り組みに対し遅い印象を持っていたが、東京社会福祉士会の間で「足立区は重層的支援体制整備事業が遅れていると話題になっている」と聞いた。足立区は令和6年度からの地域保健福祉計画作成に向けて準備を進めているとのことだが、未だに詳細について報告はされてはいない。区からは、令和6年秋に完成するすこやかプラザあだちに合わせた状況もあると聞いているが、それを待たずとも計画は進められたはずである。足立区のスタートが遅くなった理由はどのようなものか。

	31番 銀川 ゆい子
行政区分	質問の要旨
	<p>②11月7日開催の第7回地域保健福祉計画策定部会での議論において、足立区地域保健福祉計画の進捗状況を鑑み、パブリックコメント実施時期が延期となったが、当初の予定通り、令和6年4月の事業開始には間に合うと理解して良いか。</p> <p>③豊島区の計画は、事業内容、計画期間、会議体制などかなり詳細に詰められている。足立区は重層的支援体制整備事業を今後どのような点を重視して進めていく予定か。</p>
5. 衛生行政	<p><b>7. AYA世代がん支援について</b></p> <p>AYA世代(15~39歳)がん患者への公的助成には空白があったが、東京都は10月25日がん対策計画改定骨子を発表し、AYA世代患者への対策や支援の充実を強調した。医療の体制強化や若年層患者への長期のフォローアップをはじめ、患者や家族、職場への支援の充実、生殖機能の温存、自殺対策なども盛り込んだ。そこで伺う。</p> <p>①足立区では、AYA世代のがん患者数は把握していないとのことだが、年代別のがん患者数などデータを集め、早急に対策や支援を検討すべきと思うがどうか。</p> <p>②令和4年版特別区のデータによると、23区中、悪性新生物(がん)の最多死亡数、人口比率共にトップが足立区であり、当然、AYA世代の患者数も多いと思われる。だからこそAYA世代へのがん対策支援が必要不可欠である。千代田区、世田谷区、江戸川区ではすでにAYA世代がん患者の在宅治療の支援を行っている。AYA世代支援が必要な時代にきている。足立区でも取り組んでほしいと思うがどうか。</p> <p>③23区中最もがん対策が必要なのが足立区にもかかわらず、もしまだ取り組まないとすれば、できない理由、またはやらない理由は何か。</p> <p>④AYA世代のがん支援があることによって、若い世代や女性に選ばれる魅力ある区になると考えるが区の見解を伺う。</p>
6. 都市建設行政	<p><b>8. 足立区の公共交通について</b></p> <p>①12月からさらに区内コミュニティバスはるかぜの減便が進む。バ</p>

	31番 銀川 ゆい子
行政区分	質問の要旨

スの減便や廃止は時代の流れだから仕方がないと諦めてしまうのは、区民の生活に大きな影響を及ぼすだけでなく、今後の足立区の評価や区内経済、人口流動にも影響が出てしまう。厳しい状況は十分理解しているが、諦めずにバス路線が継続できるようもっと努力をすべきではないか。区の考えを伺う。

②足立区では、令和6年6月より半年間、デマンドタクシーの実証実験を行う。しかし、既に実証実験を行っている荒川区での現在の利用状況は一日一人にも満たないとのこと。荒川区とはシステムは異なるが、足立区でも同様の状況になる可能性がある。デマンドタクシーの実証実験がうまくいかなかった場合、次の対策は何か考えているか。

③シルバーパスはICタッチせずともバス運転士に提示するだけで乗車できる。乗車人数が把握できないため、正確な収入につながっていない。その結果、減便・廃止につながっている可能性もあると聞く。障がい者用割引カードは今年3月からIC化されており、シルバーパスもIC化可能なはずである。区内バスの減便・廃止をこれ以上進ませないためには、シルバーパスのIC化、利用上限や利用料金などの見直しが必要との声もあるが、区としてどのように考えるか。

④減便・廃止がこれ以上進まないためにも、他区とも連携し、シルバーパスのIC化を含めた根本的見直し議論を進めるよう東京都に要望してほしいと思うがどうか。

### 9. 北千住駅バリアフリー経路について

①常磐線緩行線・千代田線ホームから常磐線快速線への乗換えの不便改善策についてだが、千代田線改札階から常磐線快速線下りホーム、上りホームのエレベーターに直結できるよう地下道の整備をすることを提案する。

今後、足立区、葛飾区、JR、東京メトロ、四者の勉強会の具体的調査・研究課題として取り上げることを強く要望するがどうか。また、その地下道を東武スカイツリー線ホームまで延伸可能か検討してもらうために東武鉄道にも勉強会に参加してもらえるよう働きかけてはどうか。

②国の「鉄道駅バリアフリー料金制度」創設により、鉄道事業者は今年3月18日から普通運賃一律10円、通勤定期も料金に上乗せをして

	31番 銀川 ゆい子
行政区分	質問の要旨

いる。当然、鉄道利用者に負担させる以上、鉄道事業者には不便解消させる責任があると思うがどうか。

また、行政としての責任も当然生じているものと理解している。足立区選出の都議会議員、国会議員らとも積極的に連携して早急に課題解決に取り組むべきと思うが区の決意を伺う。

③常磐線緩行線からの北千住駅乗換え不便回避のために西日暮里乗換えを余儀なくされ、割高運賃を払わなければならないことと、今年3月18日からのバリアフリー料金が、本来10円の上乗せになるところ、西日暮里乗換えの場合、3倍に上乗せされることに不満の声が高まっている。

JR東日本と東京メトロが運輸協定を締結し、北千住一西日暮里間の路線をJR東日本に貸与するいわゆる「JR東日本の第二種鉄道事業」への要望の署名運動も住民達の間で検討していると聞く。足立区住民、葛飾区住民の要望が集まり、条件整備が整った際には、区も積極的に取り組むべきと思うがどうか。